

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	教育委員会 学校教育課												
	作成責任者	崎山 正人												
	事業名	就学指導事業												
	会計情報	款	教育費	項	教育総務費	目	教育振興費	会計	一般会計	事業コード	620302	決算付属資料	222	頁
	施策体系	施策コード	020303	施策名	一人ひとりを大切にしたい特別支援教育を推進する									
	開始年度	昭和50年度												
	終了予定年度	令和2年度												
	関連計画等	—												
	根拠法令等	学校教育法第81条第2項他												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	対象児童生徒の適切な就・修学のため、専門家(教育支援委員会委員等)による相談・指導体制を充実し、個別の教育支援計画の作成を推進する。特別支援学級や通級指導教室における、個のニーズに応じた支援のため、指導内容等の研究・充実を図る。									
	対象者	就学前幼児・市立学校児童生徒	対象者数	7,000	単位あたりコスト	18.8					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()									
	委託先・実施主体等										
	事業概要	特別支援学級等入級にあたっての個別指導や、特別支援教育啓発講演会・研修会を開催し、適切な就学指導を行う。特別支援学級在籍児童生徒や通級指導教室通級児を対象とした合同校外学習及び校外研修会を実施し、より豊かな体験活動の推進を図る。									
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容							H30経費	
		需用費	特別支援学級・通級指導教室での消耗品購入費用							1,482	
報酬		教育支援委員会委員の特別支援学級入級指導謝礼							365		
使用料及び賃借料		校外研修会・合同校外学習 バス借り上げ料							182		
委託料		合同校外学習 スクールバス特別運行							52		
旅費 負担金		夏季研修 学級設置校長会負担金							41		
関連事業											

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額	
	配当予算	①当初	2,242	2,332	2,273	2,233	2,245
		②補正予算	3	0	0		
		③流充用額			0		
		④繰越額計	0	0	0	0	0
	前年度繰越			0	0	0	
		次年度繰越		0	0	0	
	財源内訳 (①④⑤内訳)	一般財源	2,245	2,332	2,273	2,233	2,245
		国支出金	0	0	0	0	
		府支出金	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他特財	0	0	0	0	
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	人件費	0.58/0.00	0.61 / 0	0.56 / 50	0.56 / 50		
⑤概算人件費	4,640	4,880	129,480	129,480			
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	6,885	7,212	131,753	131,713			
⑦執行額	1,993	2,087	2,122	0			
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	88.8%	99.6%	93.4%	0.0%			

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		適正就学率	%	73.7/100	70.0/100	76.3/100	/ 100	100
							/	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		個別の教育支援計画作成校割合	%	94.5/100	94.7/100	88.1/100	/ 100	100
		教育相談件数	件	85	83	84	/	84
	単位あたりコスト		21.1	22.0	24.1			
	単位あたりコスト		23.4	25.1	25.3			

	項目	評価	評価に対する説明		
一次評価（担当課による自己評価）	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	幼児児童生徒の適正な就学指導を行い、個に応じた支援・指導の充実を図るために必要である。	
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○		
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○		
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○		教職員の資質向上を目指し研修会等を実施し、特別支援教育の推進を図る。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○		
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○		
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○		他市、他校の先進的な教育実践に学び、教育力の向上を図る。教育相談活動を充実させ、個のニーズに応じた支援を行い、成人期に向けて健やかな成長へと導く。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○		
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○		
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	特別支援学級等入級にあたっての個別指導を行ったり、特別支援教育啓発講演会・研修会を開催し、適切な就学指導を行うことが目的である。昨年に引き続き、適正就学率が70パーセント台を推移しており、今年度も保護者と就学先の決定において合意形成を図る上で難しいケースが見られた。しかし、合意形成を図るのが難しいと思われるケースは夏と秋に年2回ある教育相談のうちの夏の教育相談を受け、その後秋にかけて保護者と園・学校の連携を図っていくというケースが多く見られたので、就学先の決定に向けての各機関の連携体制がとれるようになってきた上での適正就学率であったと考える。			
今後の課題及び方向性	今後も引き続き就・修学に向けてそれぞれの機関が早くから連携を図るような啓発やシステム作りの見直しが必要である。子どもたちにとって一番望ましい指導や支援が受けられるよう、早い段階での園や学校、保護者の連携体制をさらに普及させ、研修会等、相談員（教職員）のスキルアップの場も引き続き設けていくことで適正就学率の向上を目指す。				

	所見
庁内及び外部による評価（行草担当課記入）	
三次評価（外部評価）（行草担当課記入）	

	方針区分	内容
来年度方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	【H30棚卸による見直し状況】 ・令和元年度通級指導教室合同研修会に参加の保護者へアンケートを実施し成果検証の参考とした。 ・心身に障害のある児童・生徒の適切な就学を図り、特別支援学級や通級指導教室での一人一人の発達にあった学習や体験の中で将来への自立を図るための支援を実施する。
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況（対H31） <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	教育委員会 学校教育課												
	作成責任者	崎山 正人												
	事業名	特別支援教育推進事業												
	会計情報	款	教育費	項	教育総務費	目	教育振興費	会計	一般会計	事業コード	620340	決算付属資料	222	頁
	施策体系	施策コード	020303	施策名	一人ひとりを大切にした特別支援教育を推進する									
	開始年度	平成24年度												
	終了予定年度	令和2年度												
	関連計画等	—												
	根拠法令等	障害者の権利に関する条約 教育基本法第4条 学校教育法施行令												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	発達障害等のある子どもの生涯にわたる一貫した支援システムの構築を図る。福知山市就学前発達支援事業「のびのび福知っ子」の柱の一つである就学前スクリーニングを実施し、発達障害等の早期発見、早期支援を行う。また、発達の節目である小学校5年生及び中学1年生で思春期スクリーニングを実施し、子どもの困り感を把握し、不登校等二次障害を 방지、正しい児童生徒理解と適切な支援を行う。									
	対象者	就学前幼児、小学校5年生、中学校1年生	対象者数	2,000	単位あたりコスト	3.5					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()									
	委託先・実施主体等	—									
	事業概要	就学前スクリーニングの実施及び事後支援を行う。 思春期スクリーニングの実施及び事後支援の充実を図るとともに全校実施に向けて事業の検証を行う。 通級指導教室において補助員を配置し、相談支援体制を強化する。 特別支援ファイルや各移行期における移行支援シートの機能的な活用について検証する。 特別支援教育に関する研修会及び講演会を開催し、教職員の力量アップ、理解啓発を図る。									
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容						H30経費		
		賃金	特別支援教育推進員						214		
報償費		特別支援教育コーディネーター謝礼						728			
需用費		支援ファイル、移行支援シート等						177			
旅費		講演会講師旅費等						34			
役務費	郵送費						24				
関連事業											

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額	
配当予算	①当初	2,919	1,697	1,650	1,407	5,235
	②補正予算			0		
	③流充用額	△ 3	0	0		
	④繰越額計	0	0	0	0	0
前年度繰越		0	0	0	0	
	次年度繰越		0	0	0	
財源内訳 (①+④内訳)	2,916	1,697	1,650	1,407	5,235	
一般財源						
国支出金	0	0	0	0		
府支出金	0	0	0	0		
地方債	0	0	0	0		
その他特財	0	0	0	0		
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	0.63/0.00	0.81 / 0	0.67 / 0	0.67 / 0		
⑤概算人件費	5,040	6,480	5,360	5,360		
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	7,956	8,177	7,010	6,767		
⑦執行額	2,419	1,259	1,177	0		
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	83.0%	93.8%	71.3%	0.0%		

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		就学前スクリーニングの実施状況	%		98.6/100	98.2/100	98.2/100	/ 100
	移行支援シート活用割合(小から中)	%		8.5/5	8.3/5	8.0/5	/ 5	5
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標	
	通級指導教室補助員の配置	人	2/2	2/2	2/2	/ 2	2	
	単位あたりコスト		1209.5	629.5	588.5	/		
	単位あたりコスト							

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	発達節目でスクリーニングを行うなど発達障害を含む障害のある子どもの早期発見・早期支援を行い、関係機関の連携を図る支援システムの構築はニーズも期待も高く、市が取り組み充実を図るべき事業である。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	関係機関の協力を得ながら低コストで成果の大きい事業を実施している。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	発達障害を含む支援の充実は、不登校、引きこもり、学力不振等の予防につながるるとともに成人期に向けて健やかな成長へと導く有効な手立てである。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		<p>就学前スクリーニングや思春期スクリーニング、移行支援シート等、発達障害等のある子どもの生涯にわたる一貫した支援システムの構築を図ることが目的である。</p> <p>移行支援シートの活用割合は年々上昇しており、支援の必要な児童生徒が就学、進学等で学びの場が変わっても支援を受けられるように情報を引き継ぐためのツールとして普及してきていると判断している。</p>	
今後の課題及び方向性		<p>思春期スクリーニングや就学前スクリーニングの実施により、今後も発達障害等の早期発見早期支援に取り組んでいく。</p> <p>また、これまで構築してきた支援体制を踏まえて、小中向け移行支援シートの内容の見直し等を行い、さらなる支援体制の充実と拡充を図る。</p>	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分	内容						
担当課の事業の見直し及び 予算要求方針	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし <p>【H30棚卸による見直し状況】 ・令和元年度に京都府より案の段階として提示のあった「教育支援体制整備事業費補助金」について、該当する事業がないか今後検討していく。</p> <p>・R2年度通級指導教室の増設による改修工事費用計上。</p>						
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 維持</td> <td><input type="checkbox"/> 組替</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 縮減</td> <td><input type="checkbox"/> 廃止/休止</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 拡充</td> <td></td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> 維持	<input type="checkbox"/> 組替	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 廃止/休止	<input type="checkbox"/> 拡充	
<input type="checkbox"/> 維持	<input type="checkbox"/> 組替						
<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 廃止/休止						
<input type="checkbox"/> 拡充							